

## きっと、いい日が待っている (2016)

DER KOMMER EN DAG  
THE DAY WILL COME

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 デンマーク

色彩 Color

時間 119分

初公開日 2017/08/05

公開情報 彩プロ

映倫 PG12

## 【キャッチコピー】

誰にも明日が約束されなかった時代。  
兄は今日を生きた。弟は未来を夢見た。

## 【解説】

1960年代にデンマークの児童養護施設で起きた悲劇の実話を基に、北欧で数々の映画賞に輝いた感動のヒューマン・ドラマ。尊厳を踏みにじる虐待が横行する施設に入れられた幼い兄弟が、未来への夢と2人の強い絆で過酷な現実に立ち向かう姿を描く。主役の兄弟には共に映画初出演のアルバト・ルズベク・リンハートとハーラル・カイサー・ヘアマン、共演にラース・ミケルセン、ソフィー・グローベール。監督はテレビを中心に活躍し、これが日本初紹介のイエスパ・W・ネルスン。

1967年、コペンハーゲン。13歳のエリックと10歳のエルマーは母親と3人暮らし。ある日、母親が入院したため、2人は養護施設に預けられることに。しかし初日から上級生のイジメの標的にされ、先生たちからは躰と称した容赦ない体罰が待っていた。誰にも頼ることができず、次第に追い詰められていく兄弟。そんな中、新任のハマーショイ先生は彼らの味方になってくれようとするのだったが…。

## 【クレジット】

監督	イエスパ・W・ネルスン	Jesper W. Nielsen	
製作	シシ・グラウム・ヨアンセン	Sisse Graum Jorgensen	
	ルイーズ・ヴェスト	Louise Vesth	
	ピーター・オールベック・イェンセン	Peter Aalbaek Jensen	
原案	セーアン・スヴァイストロプ	Søren Sveistrup	
脚本	セーアン・スヴァイストロプ	Søren Sveistrup	
撮影	エーリク・サボン	Erik Zappon	
美術	サビーヌ・ヴィード	Sabine Hviid	
衣装	スティーネ・テーニン	Stine Thaning	
編集	ヤヌス・ビレスコフ＝ヤンセン	Janus Billeskov Jansen	
	モーテン・ホイビヤ	Morten Højbjerg	
音楽	スーネ・マーチン	Sune Martin	
出演	ラース・ミケルセン	Lars Mikkelsen	ヘック校長
	ソフィー・グローベール	Sofie Grabol	ハマーショイ先生
	ハーラル・カイサー・ヘアマン	Harald Kaiser Hermann	エルマー
	アルバト・ルズベク・リンハート	Albert Rudbeck Lindhardt	エリック
	ラウリツ・スコフゴー・アナスン	Laurids Skovgaard Andersen	

ラーズ・ランゼ

セーアン・セッター＝ラッセン

ソニア・リヒター

ダーヴィッド・デンシック

ソールビョルク・ホイフェルト

Lars Ranthe

Soren Saetter-Lassen

Sonja Richter

David Dencik

Solbjorg Hojfeldt